

平成16年度 神戸大学技術職員研修（集合研修） 日程表

平成16年8月～17年2月 総合テーマ：ものづくりの原点

◆ 全体研修	10:00	10:45	11:00	12:15	13:00	14:00	14:15	15:15	15:30	17:15	17:30
8月25日(水)	9:00～ 受付 9:40～ 説明	「講話」 技術職員職務 協議委員会 委員長 森本政之	休憩	「講話」 就業規則について 人事課	休憩	「講演1」 医学部 (未定)	休憩	「講演2」 海事科学部教授 石田 廣 史	休憩	「技術発表」 医/海/工/農/理	懇 親 会
◆ 分野別研修											
9月15日(水)	コース① 医学分野 「対人関係に生かす臨床心理学」 本多技術専門員 (医学部)										
	コース② 海事分野 「アーキ溶接」 (午前) 講義：福岡教授、鈴木技術員、 (午後) 実習：原野技術専門職員、鈴木技術員 (海事科学部)										
9月16日(木)	コース③ 医学分野 「医学教育におけるe-Learningの実践およびその実践—オンライン(医学)英語学習システムを用いて」 木野技術員 (医学部)										
	コース④ 化学分野 「ガラス細工の基礎知識と基礎技術」 野村技術専門員 (工学部)										
	コース⑤ 機械分野 「CAD実習」 福井技術専門職員 (工学部)										
	コース⑥ 情報分野 「(仮題) レゴ実験(情報知能の実験)」 未定 (工学部)										
9月17日(金)	コース⑦ 施設見学 「文献検索技術と学舎の安全管理 / 国立国会図書館、同志社大学」 (京阪奈学研都市)										
	コース⑧ 施設見学 「文献検索技術ほか/国立国会図書館、ほか」 (京阪奈学研都市)										
	コース⑨ 施設見学 「アーキ溶接の最新技術/クボタ、ダイヘン」 (堺市、大阪市)										
8月～10月	コース⑩ 農学分野 「果樹/8月(梨生産組合)」「野菜/8月(淡路農業技術センター)」「10月・畜産(兵庫県和牛共進会)」 (学外)										
2月下旬	コース⑪ 農学分野 「食資源センター集合研修(講演、学外研修報告、技術発表、全体討議)」 (食資源センター)										

(注) 1) 8月25日(水)の受講は必修とする。 2) 分野別研修は各コースから2日を自由に選択することができる。 3) コースの内容は変更することもあります。

コース番号、分野名、テーマ 集合場所/実施場所 (参加人数)	内 容 の 概 要 【 担 当 講 師 】
①医学分野『対人関係に生かす臨床心理学』 医学部附属病院正面玄関前/医学部附属 病院中央診療棟4階第2会議室 (15名)	コンピューター時代とはいえ、私たちは、人とのかかわりを持たずに日々の生活を送る事はできません。 また、対人関係のきしみは思いのほか仕事にも影響するものです。人と人とのかかわりを出発点とする臨 床心理学の視点から、自分のこと、人付き合いのことなど見直してみませんか。 【医学部精神神経科 本多 雅子 技術専門員】
②海事分野『ものづくり(アーク溶接)』 (16名) [午前] 題目1:「アーク溶接入門 -基礎を学 び、現象を理解する-」 海事科学部総合学術交流棟2階 IPC演 習室Ⅱ/同左 ----- 題目2:「アーク溶接機の取り扱い」 海事科学部総合学術交流棟2階 IPC演 習室Ⅱ/同左 ----- [午後] 題目3:「アーク溶接実習」 海事科学部先端ものづくり工房 接合 ゾーン/同左	(講義) アーク溶接の基礎と固有の問題点を学び、他の接合方法との比較を通してその特性を理解する。 【海事科学部 福岡 俊道 教授】 ----- (講義) 一般的なアーク溶接機の構造と溶接作業における危険性を知る。 【海事科学部 鈴木 俊晴 技術員】 ----- (実習) アーク溶接機の安全な取り扱い方法を学ぶ。溶接技術の向上を図る。 ※その他:作業服(長袖・長ズボン)、靴(安全靴でなくともよい)、作業帽が必要。 【海事科学部 稲岡 喜作 技術専門職員、原野 亙 技術専門職員、油木 代一 技術員、鈴木 俊晴 技術員】
③医学分野『医学教育におけるe-Learningの 実際およびその実践 -オンラ イン(医学)英語学習システムを 用いて-』 医学部共同研究館3階情報センター/同左 (6名)	医学部では講義・実習に積極的に英語で行う部分を取り入れ、英語能力の育成を図っています。 そこで、医学英語の授業にも取り入れているマルチメディア型英語学習システムを使用して、パソコン上 でのメディカル英語または一般英語の学習を実際に体験していただきます。 【医学系研究科情報センター 水野 直樹 技術員】

コース番号、分野名、テーマ 集合場所／実施場所 (参加人数)	内 容 の 概 要 【 担 当 講 師 】
④化学分野『ガラス細工の基礎知識と基礎技術』 工学部4W-406 (化学プロセス系実験室F) / 同左 (10名)	水素・酸素炎を使って石英ガラスの加工を行う。 硼硅酸ガラスの加工は出来るが石英ガラスは経験していない人のために、研究室で頻繁に使われる熱電対の保護管・試験管の底・直管繋ぎ等を加工する。 注意事項：自分の保護眼鏡があれば持参して下さい。(使い回しでよければ3個あります。) 汗拭きタオルが必要です。 【工学部応用化学科 野村 憲司 技術専門員】
⑤機械分野『CAD実習』 LR102 工学部玄関係 / 工学部本館 ・機械棟4階CAD室 (9名)	3次元CADシステムは、数多くの種類があり、いろいろな分野で用いられている。 今回は「Solid Works」を用い Part (部品) の作成方法と Part からDrawing (作図) への変換、Partを Assembly (集合) して製品図を形成するCADシステムを習得する。 (受講者の皆さんには、アカウントについて後日連絡します。) 【工学部機械工学科 福井 喜一郎 技術専門職員】
⑥情報分野『LEGO Mindstormsによる知能ロボットの開発』 工学部本館情報知能工学科棟D2-302 (情報知能学生実験室) / 同左 (8名)	知能ロボットにおいて、センサによる環境認識やアクチュエータによる行動は必要不可欠である。 本コースでは、「センサ-情報処理-アクチュエータ」系による外界とのインタラクションを伴う知能ロボットの設計製作を行う。 【大学院自然科学研究科 小林 太 助手】
⑦施設見学『技術資料等の検索と学舎の安全管理』 (23名)	平成14年開館の「国立国会図書館関西館」において、技術資料の検索および施設の安全管理等について学ぶ。また、「同志社大学京田辺キャンパス」において、理・工学系実験施設等の安全衛生管理の実施運用についての見学を行う。
⑧施設見学『技術資料等の検索と参考文献データの収集』 (12名)	平成14年開館の「国立国会図書館関西館」において、技術資料の検索および施設の安全管理等について学ぶ。また、同館にて引き続いて、各自の目的にそった技術資料の検索作業を行い、収集した参考文献データを成果としてまとめる。
⑨施設見学『ものづくりにおける溶接の役割』 (16名)	「(株)クボタ」「(株)ダイヘン」の工場を見学することにより、溶接技術の最新事情と、ものを作る過程において、溶接技術がどのように使われ、活かされているかを知る。また、工場施設の安全衛生管理についても、その実情を見学することにより学ぶ。

コース番号、分野名、テーマ 集合場所／実施場所 (参加人数)	内 容 の 概 要 【 担 当 講 師 】
⑩ 農学分野 果樹／7月 (梨生産組合) 7 / 27 北部農業技術センター (3名) ----- 野菜／8月 (淡路農業技術センター) (2名) ----- 畜産／10月 (兵庫県和牛共進会) (5名)	梨の密植、2本主枝栽培について ----- タマネギの黒カビ病対策について ----- 兵庫県下の但馬牛、美方牛を一堂に会して行われる審査会を見学、及び肉牛の競り市の見学を行う
⑪ 農学分野 附属食資源教育研究センター (集合研修) (13名)	講演、学外研修報告、技術発表、全体討議